

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 逗子1丁目 共同住宅・店舗計画	階数	地上6F・地下1F
建設地	逗子市逗子1丁目342番1他(地番)	構造	RC造
用途地域	商業地域・第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	265 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年9月21日
敷地面積	1,391 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計東京第一事務所
建築面積	985 m ²	確認日	2017年9月21日
延床面積	4,775 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計東京第一事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
店舗と住宅の複合複合ビルとして「楽しさ」と「にぎわい」を感じられるものを商店街に接する本計画地で計画し、シャッターで閉ざされた現状が改善されるような建物を目指した。		
Q1 室内環境 F★★★★の建材を採用し、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 維持管理、維持管理機能に配慮した計画とし、住宅性能評価における劣化対策等級3としている。	Q3 室外環境(敷地内) 逗子市まちづくり条例に適合するよう、敷地面積に対して7%以上の緑地を確保した。大通り沿いのバルコニーには、花台を設けることで、緑を多くするよう努めた。
LR1 エネルギー 「断熱等性能等級」における等級4相当とした。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、水資源の保護を図っている。	LR3 敷地外環境 大通り沿いのバルコニーには、花台を設けることで、緑を育てる環境を整えており、街並みの景観に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される